



2021年5月14日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマタネ
代表者名 代表取締役社長 山崎 元裕
(コード：9305、東証第1部)
問合せ先 管理本部経営企画部長 大宮 貴文
(TEL.03-3820-1111)

「ヤマタネ中期経営計画 2022プラン」の見直しに関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い、当社を取り巻く事業環境が大きく変化していることから、下記のとおり「ヤマタネ中期経営計画 2022プラン」の2022年3月期業績目標を見直しましたのでお知らせいたします。

記

1. 見直しの背景

めざすべき企業像を示した「ヤマタネ 2024ビジョン」の実現に向けて、2019年度より、3カ年計画として「ヤマタネ中期経営計画 2022プラン」をスタートし、最終年度の2021年度において、売上高 640 億円、営業利益 42 億円、経常利益 38 億円の達成を業績目標にしておりました。しかしながら、世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、不透明な経済環境が続くなど、当初想定していた事業環境が大きく変化することとなり、中期経営計画の業績目標を見直すことといたしました。

2. 業績目標修正の概要

中期経営計画では、食品部門において、既存・新規先等の販売先の拡大により大きく販売増加を計画しておりましたが、新型コロナウイルス流行の影響により、外食関連を中心とした需要の減少に加えて、販売業者間の競争激化もあり、販売数量の減少と販売単価の下落により大きく減収減益となる見込みであります。物流部門においては、既存荷主先の物流戦略への対応と新拠点開設、さらには M&A 等による事業拡大を計画しておりましたが、新型コロナウイルス流行の影響により、海外引越を中心とする国際業務が低調となり、新拠点開設や M&A についても一部見直しや先送りとなっている案件もあり、物流不動産においてはテナントの入れ替え等により計画に遅れが生じるなど、大きく計画を修正することとなりました。また、新型コロナウイルス感染症の流行以前に策定した長期計画である「ヤマタネ 2024ビジョン」についても見直すことといたします。

ヤマタネグループは、3年後の2024年に創業100周年を迎えます。来年度からはじまる新3ヵ年中期経営計画は2024年の創業100周年にあわせたものとなり、これまでのグループ企業活動を総括するものと位置づけております。

持続可能な社会の実現に向けての取組みが求められる中、これから続く、次の100年を見据えた長期ビジョンの策定にも着手いたします。このビジョンにおいては、本社が所在する越中島地区を含む既存物件の再開発など、将来に向けた事業構想をとりいれ、グループ全体での業務改革による新たな事業展開をめざし、一層の企業価値向上を実現してまいります。

セグメント別業績予想

(単位：百万円)

	中期計画 2022/3期	2020/3期 実績	2021/3期 実績	2022/3期 予想	2022/3期	
					中期計画比	前期比
売上高	64,000	54,759	48,691	48,100	△ 15,900	△ 591
物流	26,800	21,941	22,306	21,760	△ 5,040	△ 546
食品	32,300	28,025	21,484	21,000	△ 11,300	△ 484
情報	2,200	1,789	1,629	1,690	△ 510	+61
不動産	4,000	3,003	3,270	3,650	△ 350	+380
営業利益	4,200	3,285	3,302	3,000	△ 1,200	△ 302
物流	2,820	2,219	2,444	2,210	△ 610	△ 234
食品	550	657	303	180	△ 370	△ 123
情報	120	109	57	30	△ 90	△ 27
不動産	1,570	1,157	1,383	1,540	△ 30	+157
(調整)	△ 880	△ 857	△ 886	△ 960	△ 80	△ 74
経常利益	3,800	2,941	3,142	2,710	△ 1,090	△ 432
EBITDA	6,427	4,935	5,234	5,310	△ 1,117	+76

以上